

秋季全国火災予防運動

(11月9日～15日)

「消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子」

(全国統一防火標語)

【住宅防火 いのちを守る7つのポイント】

- (3つの習慣)
 - ・寝たばこは、絶対やめる。
 - ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- (4つの対策)
 - ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。
 - ・寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
 - ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
 - ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力を体制をつくる。

住宅用火災警報器のお済みですか？



住宅用火災警報器は、火災による煙や熱を自動的に感知して警報音や音声で火災の発生を知らせるものです。住宅用火災警報器が作動し

たおかげで、大きな火災にならずに済んだという事例が数多くあります。

事例1

鍋をガスコンロにかけ、火をつけたまま他の部屋へ行き、掃除を始めてしまったところ、階段に設置してあった住宅用火災警報器が作動。

警報音に気付き、台所に戻ると鍋から煙が上がっていたため、119番通報した。焼損は台所の壁のみで、大事に至りませんでした。

事例2

女性が鍋をかけたまま外出。外にいた近所の住人が、住宅用火災警報器の警報音と煙が窓から出ているのに気付き、玄関ドアや窓ガラスを叩くなどして、2階で寝ていた男性に知らせ、気付いた男性がガスコンロの火を消し、大事に至りませんでした。

事例3

神棚のローソクが倒れて下に敷いてあった布に着火。住宅用火災警報器が作動し、火災に気付いたため、消火器を使用して消火しました。



消火器の維持管理は万全ですか？

住宅火災の初期消火に最も適しているといわれる住宅用消火器ですが、老朽化し、腐食が進んだものを、使用したり、自分で解体などの廃棄処理をしようとする、容器が破裂することがあり、大変危険です。

消火器はできるだけ風通しが良く、目に付きやすい場所に設置しましょう。

湿気が多い所、風雨にさらされる場所は避けましょう。

消火器は、半年に1回は容器のさびや変形等がないか、点検するようにし、おおむね5年を目安に消火剤を交換するようにしましょう。

古い消火器や、異常が発見されたものは、使用しないようにしてください。

不用になった消火器については、メーカーに問い合わせるか、回収を行っている専門の消防設備業者等に廃棄処理を依頼してください。

消火器の回収を行っている事業者がわからないときは、消防本部までお問い合わせください。

消防本部予防係 ☎ 722

8111

男女共同参画シリーズ③

あなたらしく、わたしらしく ～セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)～

2007(平成19)年4月に施行された改正「男女雇用機会均等法」では、事業主に対して、男女を問わずセクハラ防止への措置を義務付けています。

この法律では、セクハラを「対価型」と「環境型」に分類しています。対価型は、例えば男性の上司が立場を利用して女性社員に性的関係をせまり、拒否すると降格や解雇、減給などの不当な扱いをすることなどです。

環境型は、例えば職場で女性の身体にわざとさわる、性的なうわさを流す、性的なからかいなど、女性の意に反する性的な言動により、就業に悪影響を及ぼすものです。

男性が女性を対等なパートナーとして認めず、性的な関心・欲求の対象とみなして、女性の意に反する言動をすると、いわゆるセクハラとなります。

セクハラは、雇用の場をはじめ、あらゆる場において、個人としての尊厳を不当に傷つけ、能力発揮を妨げるものであり、重大な人権侵害です。

近年は、男性が女性に対して行うものだけでなく、女性も男性に、あるいは同性間で行うものでもセクハラであるとの考え方が広がってきています。

図 人権推進課 ② 2 2 4 1

町税等の納期のお知らせ

納付は納期限までにお忘れなく

納付期限

11月30日

固定資産税 4期
国民健康保険税 5期
介護保険料 5期
後期高齢者医療保険料 5期
納期内の納付をお願いします。

町税等の納付は、便利な口座振替をご利用ください。座振替申込書は、納付書に綴られているほか、収税課・福祉課窓口にあります。通帳・

通帳使用印をご持参のうえ、収税課・福祉課または取扱い金融機関でお申し込みください。

口座振替の開始は、申込月の翌月末以降の納期分からとなります。

収税課(内) 2143
福祉課(内) 2124

催告に応じない町税滞納者に対して 預金や給与などの差押を実施しています

町では、再三の文書や訪問などの催告に応じない町税滞納者に対して、預金や給与などの差押を実施しています。

関 収税課(内) 2143

滞納処分の流れ



納税催告
納期限が過ぎても納付しない方に対し、督促状・文書催告書の送付、電話催告、自宅訪問を行います。

財産調査
催告に応じない滞納者の財産について、官公署・金融機関・生命保険会社などに対し調査します。

給与調査
滞納者が給与所得者である場合は、給与差押をするために、勤務先に対し給与調査を行います。

滞納処分（財産差押・換価処分）
納期限を過ぎても納付せず、税金を滞納したまま放置しておく、法律に基づき滞納者の意思に関わりなく強制的に財産の差押などの処分を受けることとなります。差押の対象は、土地・建物、預貯金、給与、生命保険などです。

相談窓口

町税を納期限までに納めることが難しい場合は、収税課にご相談ください。平日に来庁できない方のために、休日納税相談も実施しています。

相談日 毎月第2土曜日および最終日曜日 9時～16時
(相談日を変更する場合がありますので、来庁する場合は前もって相談日を確認願います。)

ALT's News World

No.6

このコーナーは、小・中学校で英語を指導するALT3名が毎月交替で担当します。

Hello, I am Cecilia Watanabe.

I have many vivid memories of my country during this season. After the country suffers an annual onslaught of dangerous storms from July through October, Filipinos start cleaning up the family grave, hurrying to and fro, doing a last minute buying of the things they will need in preparing for the occasion. Assorted candles of colors, shapes and scents and of a variety of flowers freshly picked from a native farm are deluging in the local market. Such a typical Filipino setting indeed and so much like Christmas Eve, the difference is it's not Christmas and it's not for the living. It is All Soul's Day and it's for the dead.

On this day, thousands and thousands of families come to the cemeteries to honor ancestors and relatives who have died and to enjoy festive picnics and family reunions among the tombs. Old cemeteries in the Philippines, as a rule, do not consist of neat plots of grass with gravestones marking the presence of the deceased buried there below the earth. In the Philippines, many of the dead are laid to rest above ground in mausoleums (often white) of different sizes, some large enough to house the remains of many persons in separate compartments. Those who come to spend All Soul's Day with their deceased relatives, therefore, gather together in this kind of setting.

こんにちは、セシリア・ワタナベです。

私には今の季節の母国での思い出がたくさんあります。フィリピンに毎年訪れる7月から10月にかけての激しく危険な嵐が去ると、フィリピン人は一家の墓をきれいにし始め、ある行事に向けた準備と必要な買い物で右往左往します。地元市場は様々な色・形・香りのあるろうそくと、農場から摘みだたの多様な花であふれます。これはフィリピンの典型的な伝統行事で、クリスマスと似ていますが、生きている人のための行事ではありません。オール・ソールズ・デイ(すべての魂の記念日)とは、死者のための行事なのです。

この日に、何千という家族は亡くなった親せきを弔うためにお墓参りをし、墓地で陽気にピクニックを行います。フィリピンの古い墓地には、故人が眠る地下の場所を示すためのきれいに区画された芝生や墓石は見られません。フィリピンでは、多くの死者は地上に建てられた様々な大きさの(普通は白色)壟びょうに葬られます。大きな壟びょうには家族単位の個室が備わっています。オール・ソールズ・デイを家族と過ごしに来る人は、このような所に集まるのです。

お問い合わせは、教育委員会学校教育課(内)2532へ(ALT...Assistant Language Teacher)